

平成28年8月23日

川崎市立高等学校入学者選抜学力検査採点誤りの再発
防止に向けたマークシート方式の導入について（案）

学校教育部指導課

次のとおり、マークシート方式を導入し、市立高等学校入学者選抜学力検査における採点誤りの再発防止・改善を図るものとする。

1. 内容

・導入時期等

平成29年度入学者選抜における共通選抜（全日制・定時制）学力検査から、記号選択式問題の解答方法として実施

・導入方式・採点方法等

マークシート読取機(OMR)及び専用ソフトウェアを用いた自動採点。

記述式問題については、OMRで読込んだ画像データを採点用紙として出力し、各校採点担当教員が2系統で採点・照合した後、確定得点の入力による自動集計。

2. 効果

○記号選択式問題については、自動採点によりヒューマンエラー防止が図れる。

採点担当者の見誤りや再点検における見過ごしを防止するため、記号式選択問題については、マークシートの解答をシステム上で自動採点と自動集計を行うことにより、採点誤りにつながる人為的な採点作業を減少させることができる。

○記述式問題の採点役割を分担することにより採点誤りの防止が図れる。

マークシート方式による自動採点により、これまで記号選択式問題の採点にあてていた時間と担当者を、記述式問題の誤字や脱字を点検する採点担当者にあてる等、採点誤りの防止に向けた新しい役割分担が可能になる。

○記述式問題の採点を2系統で行い、得点を照合することで採点誤りの防止が図れる。

読込データから問題別採点用紙を2部出力することで、記述式問題の2系統による採点が可能になり、相互の得点照合により重層的な採点、点検ができるようになる。

○記述式問題の採点結果の自動集計により、計算誤りの防止が図れる。

各受検生の合計得点については、システム上で記号選択式問題の集計結果と個別の記述式問題の得点を自動集計することができ、採点担当者による得点集計時における計算ミス防止することができる。

3. 課題

- ① 中学3年生等、志願者に向けて迅速なマークシート導入に関する周知と説明による不安の解消が必要。
- ② マークシート読取り時のマークミスや訂正（消し）が不十分である等、エラーデータの取扱いに対する対応基準が必要。
- ③ 高等学校の担当者に向けたマークシート読取機器の操作や読み取り後の電子データの取扱いに関する十分な説明と機器を用いた研修が必要。
- ④ 当日のマークシート読み取り作業時にトラブルが生じた場合には、合格発表までの選抜日程に大きな影響が生じることから学校に対する支援体制の整備が必要。

4. 課題解決に向けた取組

- ① マークシート導入に関する周知については、県教育委員会と連携を図りながら周知リーフレットやマークシートのサンプル解答用紙を10月以降に中学校へ配布をする。市立中学校及び高等学校校長会とも連携を図り、市立中学校3学年の教員に向けた説明を行うとともに市立高等学校では、学校説明会等において、受検者及び保護者に対してマークシート方式の導入に関する情報の提供を図る。
- ② マークシートの読み取りに際しては、ダブルマークやノーマークのチェックは読取りシステムにおける検出により確認を行い、塗りつぶしの濃淡による判断は、読取機器の検知精度を統一することにより検知規格の基準化に努める。
- ③ 市立高等学校の教員への研修については、県教育委員会とも連携を図りながら、入学者選抜の担当者に向けた説明会や機器を用いた研修会を実施し、業務の理解に努める。また、9月からマークシート方式導入の進捗状況に応じて、市立高等学校入学者選抜担当者会議を開催し、各校への周知と運用上の課題解決に向けた協議や支援を行なう。
- ④ 平成29年度入学者選抜においては、導入の初年度であることから、新しい方式において円滑な入学者選抜が行われるよう、マークシート読取り時に読取機器業者の担当者を配置する等、市立高等学校と市教育委員会が連携を図りながら、学校への支援体制の整備に努める。

以 上